

## 令和3年度医学部入学定員の増員に係る各大学の取組の概要

### ○ 地域枠（4大学25人）

大学名	令和2年度定員	令和3年度増員計画		令和3年度定員(計画)	令和3年度増員計画
		増員数	都道府県ごとの内訳		
[国立]					
山形大学	105	8	山形県	8	113 1年次には、「早期医学・医療体験学習（必修）」を開講し、県内3市と連携し患者搬送と救急医療の現場体験を行っている。3～4年次には、「社会医学・医療学（必修）」として、地域医療の課題、政策、展望等を学ぶ講義を開講している。4年次では、「総合医学演習（地域医療学）（必修）」として、地域医療の現状、地域医療計画、医療機能分化と地域連携、地域医療と介護・保健等について学ぶとともに、県内へき地にある病院（3病院）を訪問し実地体験する授業を開講している。4年次（10月）からはじまる臨床実習では、附属病院での「ベッドサイドラーニング」の後、「山形県広域連携臨床実習」として県内中核病院（14病院）での「クリニカルクラークシップ」を行っており、県内各病院の医師定着につなげている。
新潟大学	127	5	新潟県	5	132 1年次から早期医学体験実習を始め、地域医療に関する講義・実習を盛り込み、5年次には、地域医療臨床実習を必修にするなど、地域医療・地域包括ケアを担う医師の役割などを包括的に学ばせている。6年次で行う診療参加型臨床実習では、大学病院や関連病院で更に充実した臨床実習を行っている。また、全学年を対象に学年別にキャリアパス説明会を開催し、新潟県で地域医療に従事する強い意志を持つ医学生のカリヤ形成を支援する体制を強化している。
[私立]					
昭和大学	109	7	新潟県 静岡県	2 5	116 3年次・5年次においてプライマリーケアを学ぶために地域にある診療所で実習を行う。3年次・5年次同じ診療所で行う。5年次後半からクリニカルクラークシップ（参加型臨床実習）で学外の医療施設で実習を行い地域医療を学ぶ。多くの学生が、出身地の医療機関で実習を行っている。
近畿大学	95	5	静岡県	5	107 1年次から地域の医療施設や保健センター等で働く医療関係者の仕事を体験する「学外施設実習/総合医学」を実施している。2～4年次には、「社会医学」、「臨床総論」、「臨床各論」等の科目の中で、地域医療に関連する事項を学ぶ。4～6年次は、60週間の「臨床実習（C.C.）」を実施している。本学の2つの病院での各診療科のローテーション実習に加えて、和歌山県串本町にあるくしもと町立病院でのへき地実習を1週間実施している。また、6年次には教育連携病院で4週間または8週間の地域医療実習を組み込んでおり、静岡県地域枠の学生は、そのうちの4週間は静岡県内の病院で実習することになっている。
合計		25			

### ○ 研究医枠（1大学1人）

大学名	令和2年度定員	令和3年度増員計画		令和3年度定員(計画)	令和3年度増員計画
		増員数	都道府県ごとの内訳		
[私立]					
金沢医科大学	107	1			108 入学時に新たな定員枠で募集する。学部生が大学院の早期履修制度を活用して共通科目を履修し、大学卒業と同時に直接研究できる仕組みを作り大学院入学を許可する。更に、初期研修と並行して研究テーマを遂行できるプログラムでもある。大学院終了後は本学職員として助教に採用し、先端医療・感染症の研究に従事する。臨床での研究もオプションで可能にできるよう配慮する。大学院在学中には、研究テーマに即し、3ヶ月前後の外国留学の機会を与えるものとする。
合計		1			

(注)「定員」には編入学定員を含む。